

総合医学（隣接医学系）

4年次 通年	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学）
学習の目標（GIO）	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	法医学： 小室歳信、精神・神経科学： 太田克也、 織田健司、 平井伸英
教科書	法医学：臨床のための法医学 第6版・小室歳信，澤口彰子ほか・朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷・小室歳信・医歯薬出版 精神・神経科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	精神・神経科学：カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳／井上 令一・四宮 滋子、DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 原著：American Psychiatric Association 訳：高橋 三郎／大野 裕／染矢 俊幸、ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳：融 道男／中根 允文／小見山 実、現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版、標準精神医学 野村総一郎、樋口輝彦 医学書院
実習器材	なし
評価方法（EV）	平常試験（多肢選択問題）によって評価点（100％）とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行いが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60点以上を合格とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略（SBOs）(LS)・準備学習（予習）内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月10日（水） 14:40～16:10	1. 総論 1) 法医学の歴史，定義，対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【講義】302 教室 ・法医学は、「法律上問題となる医学的事項を研究し，解決に寄与しようとする学問」である。ここで「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを説明できる。 ・法医学の対象は，死体ばかりでないことを説明できる。 ・検屍の対象となる異状死体とは何か，また，どのような場合に法医解剖に付されるのかを説明できる。 ・我国における死体の取り扱いについて説明できる。 ・ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。また，どの時点で死と判定されるのかを説明できる。	小室歳信
4月17日（水） 14:40～16:10	3. 死体現象 1) 定義と法医学的意義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間の推定 4. 異常環境等による障害と死 1) 高温による障害	【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【講義】302 教室 ・死体に現れてくる様々な変化・現象を理解する。早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解を説明できる。 ・ミイラ化や死蝸化現象について説明できる。 ・死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを説明できる。 ・異常温度による障害・死亡の発生機序を理解し，とくに火傷死と焼死との死体所見の差異について説明できる。	同上
4月24日（水） 14:40～16:10	5. 損傷 1) 定義と用語，法医学的意義 2) 法医学的問題点 3) 分類 4) 被虐待児症候群 5) 損傷による死因 6) 生活反応	【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【講義】302 教室 ・人体に生じた創傷を観察し，その検査の法医学的意義について説明できる。 ・創傷の数，部位，性状および程度などから，自・他殺あるいは事故死の区別ができることを説明できる。 ・乳幼児や小児が親や保護者から繰り返し虐待を受け，それによって生じた外傷の特徴的性状を説明できる。 ・損傷による死因について検討し説明できる。 ・生体でなければ現れない所見（生活反応）と意義について理解し，死後損傷と識別ができることを説明できる。	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月8日(水) 14:40 ~ 16:10	6. 中毒 1) 中毒, 毒物の定義 2) 薬毒物の分類 3) 一酸化炭素・青酸 4) 農薬 5) 犯罪の成立要件 6) 薬物依存症	【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【講義】302 教室 ・薬毒物の定義および薬理学的分類について説明できる。 ・一酸化炭素, 青酸および農薬などの性質, 中毒作用機序および死体所見などを説明できる。 ・犯罪の成立要件について学習する。「行為者の責任能力」の有無を, 正当防衛, 緊急避難, 心神耗弱, 心神喪失と関連づけて説明できる。 ・耽溺性のある麻薬類, 覚醒剤等の代謝と排泄を説明できる。 ・アルコール依存症の定義と症状, ならびに代謝と排泄について説明できる。 ・薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について説明できる。	同上
5月15日(水) 14:40 ~ 16:10	7. 窒息 1) 窒息死の定義と分類 2) 窒息死の経過 3) 窒息死の特徴	【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【講義】302 教室 ・窒息の種々のタイプ(縊死, 絞死, 扼死など), 作用機序および窒息死体の剖検所見を説明できる。 ・窒息死体の特徴を知り, 自・他殺あるいは事故死の区別を説明できる。 ・歯科治療中の死と窒息との関係を説明できる。	同上
5月22日(水) 14:40 ~ 16:10	8. 個人識別 1) 個人識別の必要性・重要性 2) 生体および死体の個人識別 3) 白骨死体の個人識別 4) 大量災害死事故における身元確認 9. 歯科法医学 1) 歯科所見の法医学的意義 2) 歯からの性別判定・年齢推定 3) 歯痕 4) その他, 歯からわかること	【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【講義】302 教室 ・個人識別の定義について説明できる。 ・白骨死体の個人識別において, 頭蓋骨の形態観察による性別判定法と年齢推定法について説明できる。 ・大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について説明できる。 ・歯および歯科所見の証拠物件としての価値を知り, それらの所見が身元確認になぜ有効なのかを説明できる。 ・歯の形態(大きさ, 形)からの性別判定法を説明できる。 ・歯の発生学的変化, 生理学的変化, 病理学的変化および物理化学的変化からの年齢推定法を説明できる。 ・歯に関する損傷のうち, 歯痕からの個人識別について説明できる。 ・歯科所見から職業, 出身地, 教養や生活程度などを推定できる場合があるを説明できる。 <B-2-3)>	同上
5月29日(水) 14:40 ~ 16:10	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医行為と歯科医行為	【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【講義】302 教室 ・業としての医療行為とはなにかを説明できる。 ・正当な医療行為として認められるための条件(治療, 医学的・社会的正当性, 承諾)について説明できる。 ・生体腎移植, 正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて説明できる。	同上
6月5日(水) 14:40 ~ 16:10	11. 医療事故と法医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【講義】302 教室 ・医療の現場で起こった事故による最悪の事態は患者が死ぬことである。遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを説明できる。 ・事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し, 再発防止策を説明できる。 ・医療事故からリスクマネジメント構築を説明できる。	同上
6月12日(水) 14:40 ~ 16:10	精神・神経科学 1 総論	【準備学習項目】 外因性・内因性・心因性精神障害について説明できる。 【講義】302 教室 1. 医師・患者関係の心理学, 疾病や治療に対する心理的反応, 人格による心理的反応の違いについて理解し説明できる。 2. 外因性・内因性・心因性精神障害の分類について理解し説明できる。 3. 自殺の原因, 手段, 対応について理解し説明することができる。ストレスの成因, 背景, 対処について理解し説明することができる。	太田克也

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月19日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学2 心身症と緩和医療	【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。 【講義】302教室 1.精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明し理解することができる。 2.身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を理解して説明することができる。緩和医療について理解し説明することができる。 3.心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について理解し説明することができる。	平井 伸英
6月26日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学3 外因性精神障害と睡眠障害	【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。 【講義】302教室 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
7月3日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学4 内因性精神障害(統合失調症)	【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる。 【講義】302教室 内因性精神障害(統合失調症)およびてんかんの症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也
7月10日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者の精神障害	【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。 【講義】302教室 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。	平井 伸英
7月17日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学6 てんかん	【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。 【講義】302教室 てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療についておよび人格障害の特徴、対応、治療について理解し説明することができる。	織田健司
7月24日(水) 14:40～16:10	精神・神経科学7 内因性精神障害(気分障害)	【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。 【講義】302教室 1.感情障害(躁うつ病)の症状、対応、治療について理解し説明することができる。 2.うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態、症状、対応、治療について理解し説明することができる。	太田克也
9月11日(水) 14:40～16:10	平常試験	平常試験	坂巻達夫 太田克也 平井伸英 小室歳信 織田健司